

# 宇都宮都市交通戦略推進懇談会だより

vol.6 - 2026.6.8 -

本市では、目指すまち「スーパースマートシティ」の基盤となる「NCC」の着実な形成に向けて、多様な交通手段が連携した総合的な交通ネットワークの構築に取り組んでいます。

今年度は、昨年度に引き続き「第2次宇都宮都市交通戦略(後期計画)(令和6年度策定)」の進行管理を行いました。

## 1 令和8年度 宇都宮都市交通戦略推進懇談会の概要

### ■ 令和7年度の各施策事業の取組状況等について意見交換を行いました。

#### ○各施策事業の取組状況等について

令和7年度の取組状況及び今後の方針・取組について報告をし、意見交換を行った。

#### 【令和7年度に進捗した主な取組について】

- ・ ライトラインの駅西側整備・駅東側の利便性向上
  - ⇒ 軌道運送高度化実施計画の策定, 国に対して特許申請を実施(令和7年10月)
  - ⇒ ライトラインの累計利用者数が約6か月前倒しで1,000万人に到達(令和7年8月)
- ・ バス路線の再編・拡充
  - ⇒ ライトラインのJR宇都宮駅西側延伸とあわせたバス路線再編の円滑な実施や効果の最大化などを図るための基本協定を関東自動車株式会社と締結(令和7年9月)
- ・ 交通機関間の乗り継ぎ利便性の向上, 公共交通の運賃負担の軽減
  - ⇒ ライトライン・バス・地域内交通を1日1,000円で利用できる「オフピー9パス(1日乗車券)」を導入



## 2 懇談会における主な意見

#### 【令和7年度の進行管理について】

- 資料で、他分野との連携・協働を推進しているとの説明があったが、国においても現在、リ・デザインに取り組み、他分野との共同・協業に係る事業に対する補助制度を創設するなどしているところである。今後も、宇都宮市の協働事業をぜひ推進していただきたい。
- ライトラインの利用者数が、想定より6か月早く1000万人を達成するなど、皆様の協力もあり好調に推移している。宇都宮駅東側において利用が定着した理由として、駅でのスムーズな乗り継ぎや雨に濡れない工夫など、乗り継ぎ利便性が高いことが考えられる。そのため、今後、駅西側において交通結節点の検討を進めていくと思うが、ぜひ、乗り継ぎ利便性を高められるよう取り組んでいただきたい。

【お問い合わせ先】 宇都宮都市交通戦略推進懇談会

事務局: 宇都宮市都市整備部交通政策課 〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1丁目1-5

【TEL】 028-632-2134 / 【FAX】 028-632-5426

【E-mail】 u2015@city.utsunomiya.tochigi.jp